

市政のあり方を問う!

一般質問

一般質問とは

議員が市の行政全般について、市長など執行機関に方針や疑問点を質問するものです。詳細は津山市議会ホームページの「会議録検索」などでもご覧いただけます。

また、各議員の二次元バーコードをスマートフォンなどで読み取ると、質問の様子(録画映像)を見ることができます。

阿波森林公園

阿波森林公園では、医師の高齢化などのほか、スタッフの確保が難しいなどの理由で閉院する医療機関が増加し、救急医療体制に支障が生じてきている。2040年には、高齢者人口がピークを迎え、労働力不足に伴う医療や介護の負

担が増加する。高齢者の増加で、救急搬送の増加も懸念され、救急搬送が必要ない方が搬送されると救急現場の疲弊を招くことにもなる。限られた医療資源の有効活用など広域で連携していくことが必要と考える。今後、医師会や拠点病院、三次医療圏内の自治体等と2040年の救急医療体制の展望を見据えた対応を検討していき

救急搬送における広域連携

2040年を見据えた救急医療



2040年の救急医療体制は

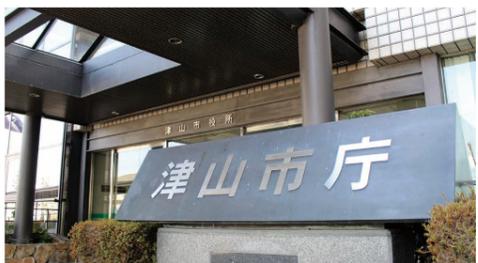
担が増加する。高齢者の増加で、救急搬送の増加も懸念され、救急搬送が必要ない方が搬送されると救急現場の疲弊を招くことにもなる。限られた医療資源の有効活用など広域で連携していくことが必要と考える。今後、医師会や拠点病院、三次医療圏内の自治体等と2040年の救急医療体制の展望を見据えた対応を検討していき

津山市の危機管理対策は

津山自由民主倶楽部 森岡和雄



1月の記録的な大雪では住民の皆様には十分な対応ができず、多大なご不便をおかけし、大変申し訳なく思っている。こうした状況の下ではあったが、多くの住民、事業者の皆様には、生活道路の除雪



防災体制の強化を!

をはじめ、高齢者の安否確認や生活支援などにご尽力をいただき、厚く御礼を申し上げます。今般の大雪対策については、取り組みべき課題や改善すべき点も多々あることから、早急に体制等の見直しを行う。今後も災害に強いまちづくりを進めるために、市の防災体制の充実、強化と地域防

Pickup! 3月議会

注目の事業を紹介します

津山市スマートシティ構想推進事業

事業費 2億3,167万円

デジタル社会の構築に向け、サービスと住民、事業者等をつなぐデータ連携基盤を整備し、市民ポータルサイトを使った情報発信や電子申請などの、新たなサービスを提供します。

3月定例会での質問

問 スマートシティ構想推進事業の中の市民ポータルサイトについては。

答 市民ポータルサイトは、市が提供するアプリやサービス、情報発信ツールの入り口が分かれていて不便であるといった課題を解決するために整備を図る。

利用者が自分で登録した内容に応じて、必要な行政情報に円滑にアクセスできる仕組みである。

多子世帯応援事業

事業費 1億1,028万円

1歳から3歳までの、第2子以降の児童に対して、市独自の給付金を支給し、経済的な負担の軽減により、安心して津山で妊娠、出産、子育てができる環境を整えます。具体的には、第2子は1歳及び2歳時に、各10万円、第3子以降は1歳、2歳、3歳時に、各10万円を支給するものです。

子ども医療費公費負担事業

事業費 4億3,828万円

現在、子ども医療費は、中学生までが無料化の対象ですが、令和6年1月から対象範囲を高校生年代までに拡大し、子育て支援を一層充実させます。

3月定例会での質問

問 令和6年1月から自己負担無償化の対象の上限を拡大するとのことであるが、年内に前倒し実施できないのか。

答 制度拡大には受給者証の更新、高校生年代への新規受給者証発行といった準備に加え、対応するためのシステムの整備、また、住民や医療機関等への周知も必要であることから一定の準備期間を要する。

今後、関係機関等との調整・協議を進め、準備が整い次第条例改正等の手続きを経て制度を開始したいと考えている。

ふるさと納税推進事業

事業費 2億925万円

ふるさと納税の拡大に向け、返礼品の開発や都市圏でのPR活動を積極的に進めるとともに、津山市を訪問した旅行者等がふるさと納税の返礼品として電子商品券を受け取り、地域内で消費する仕組みを新しく導入することにより、地域経済の活性化に取り組みます。